

みんなご近所だに、一緒にやらずに!

彩りの杜 ～地域をつむぐ～

丸子地域教育事務所通信 NO.8

丸子地域教育事務所から、地域の公民館の活動や青少年の事業など、地域で行われているさまざまな活動や人物などにスポットを当て、年4回程度発信しています。

今回は、11月7日に開催された「子どもの明日を考える集い」の報告と、学校の枠を超えて行われている子ども同士の交流や、地域の人たちとの交流について、丸子地域内の取り組みをいくつかご紹介します。

平成30年1月16日発行

丸子地域教育事務所（社会教育係）

上田市上丸子1592番地2

電話 42-3147 有線 24722

Email : mkyoiku@city.ueda.nagano.jp

URL : <http://www.city.ueda.nagano.jp/ta-anoshimu/kominkan/maruko/index.html>

「子どもの明日を考える集い」

11月7日（火）丸子文化会館小ホールで子どもの明日を考える集いが開催されました。冒頭、丸子北中学校の「丸子コスモス大学」の事例発表が行われた後、講師に昨年に続き伊那市学校支援コーディネーターの武田登氏を迎え、「今、なぜ、地域と学校なのか Part2 ～コミュニティスクールの新しい動きと課題～」と題して講演いただきました。講演後は中学校区のグループに分かれ、活発な意見交換が行われました。そこで出されたご意見、感想等をご紹介します。



武田登氏

地域の宝は子ども。勉強だけではなく、地域の方からしか学ぶことができないことがあるので、たくさん関わる時間を作ってほしい。

住んでいて当たり前と思っている中に地域の良さがあると思う。そういうことが伝わるといい。

夢と希望を持ってもらいたい。

丸子北中学校

「丸子コスモス大学」

丸子北中学校では、総合的学習として、地域の方を講師に、全校生徒と共に地域の方も受講生として学習する活動を行っています。生徒の発案から始まったこのコスモス大学は今年で13年目を迎え、県内でも先進的活動として注目されています。

北中のコスモス大学について初めて知ったが、生徒会も加わり活動していることが素晴らしいと感じた。武田先生には、他の地域での取り組みを教えていただき参考になりました。本気で取り組まないと進まないと思いました。グループ討議は丸子の歴史や魅力を知ることができて良かった。地域を知り地域に誇りを持てる子どもを育てたい。

子どもたちが学校だけでなく、地域の方にたくさん教えていただいたり、助けていただいたりすることは、とても大切だと感じています。色々な視点から、よりよい方向を考えていく事が必要だと思いました。

いつか地域に戻ってくるような、帰ってきたくなるような故郷にしていきたい。



できあがった
バックを持って
記念撮影



「ひびきあい教室」「親子夏休みひびき合い教室」

「ひびきあい教室」は、丸子地域内の小学生が、学校や学年を超えた仲間づくりをし、また先生のお手伝いを通じて、リーダーやボランティアの心を育てる目的で今年は6教室、月1回のペースで現在開催中です。

「親子夏休みひびき合い教室」は、夏休みを利用して親子で参加できる教室で、今年は4教室各1回開催しました。

いずれの教室も講師は地域の人たちです。中でも今年は「親子夏休みひびき合い教室」のうち2教室を丸子修学館高校で行いました。講師は修学館高校の生徒と先生です。小学生たちを迎えるために、事前に予行練習もして準備万端で臨み、子どもたちを飽きさせないよう工夫して楽しませていただきました。参加した小学生たちはお姉さんお兄さん方を慕い、「楽しかった。また参加したい。」との声が聞かれました。いずれの教室も笑顔があふれていました。



静電気の実験



「丸子春秋学園」 修学館高校見学

今年度初めての試みとして、高校の授業風景を見学させていただきました。現在の社会情勢に対応するために授業の選択肢を広げることで、「うんと迷って進路を考える」という学校の方針に興味を持った参加者からは、「また、こういう機会を持ってほしい。有意義な時間でした。」と感想がありました。

公民館カルチャー教室

「図工室で陶芸をはじめよう！」

西内小学校には県内で唯一、登り窯があります。昨年から学校支援の一環として、カルチャー教室を西内小学校の図工室で開催しています。今年度全6回開催のうち最後の回では、釜を焚く様子を見学しながら薪割りの作業を行いました。登り窯の釜焚きには、たくさんの薪と労力を要します。参加者は作品制作を楽しみながら子どもたちと触れ合い、貴重な登り窯を守る支援を行うことができます。参加者からは、「やっているうちにアイデアがいっぱい浮かんで、あれも作りたい、これも作りたいと思えるようになった。楽しい！」との感想が聞かれました。

「青少年ネットワーク会議」

「どんな学校や地域になればいいのか、そのために何ができるか」を考える丸子地域内小学校4校、中学校2校、高等学校1校の代表者42人による会議です。「あいさつ運動(A)」「ボランティア活動(B)」「クリーン作戦(C)」の「ABC活動」という3本柱をテーマに活動をしています。

